●新発田市でのラリー大会開催誘致について

Ｑ．

昭和 60 年、佐渡にてラリー大会が行われたことを知り、ここ新潟新発田でもそんな楽しい大会ができないかと思いお手紙を書かせていただきました。

新潟県でもロードバイク等の自転車による大会はありますが公道を使用した規模の大きいモーターサイクル競技の大会は聞いたことがありません、新発田、もしくは周辺都市を巻き込んでの大会の誘致に成功できれば車好きは必ず見に来ると思います。

現在の競技では全コースが未舗装路というものではなくなってきております、少し郊外に行けば起伏の激しい山々、カスタマイズされた車たちが東赤谷連続洞門や広域基幹林道 新発田南部線、ニノックススノーパークへアクセスするための新潟県道 343 号 境興野小舟谷線、ニノックス周辺から胎内方面へ抜ける北蒲原東部広域農道などなどを駆け抜け場所を選べばダートコースも可能では？と思われます。

新潟、近辺の県でも開催は聞いたこともなく絶対盛り上がるし経済効果もかなり大きいのではないか？と思います、新潟はもとより近辺の県でも開催は聞いたこともありませんので近場では唯一無二のイベントになると思います。

ちょっと大きな夢みたいな誘致の提案ですがいかがでしょうか？

（令和 7 年 11 月受付）

Ａ．

例示いただいたラリー大会は、トヨタ自動車が主催する大会で、自治体が地元の受け皿となる団体と協力し、支援組織などを立ち上げ、日本各地で誘致活動が行われている大会であると認識しております。

御提案いただいたラリー大会について、早速担当課に開催に係る調査を指示しましたところ、ラリー大会の開催は、受け皿となる専門団体の発掘や、公道を使うレースであることから、道路交通法上の問題や安全管理体制の構築等、様々な課題の克服が必要であり、残念ながら現時点において、誘致や開催に至る事業ではありませんでした。

しかしながら、開催自治体への経済効果があるという点では、大変魅力的な事業であり、モータースポーツという観点に着目いただいたことは、新たな気付きとなりました。ありがとうございました。

様々な課題はあるものの、今後専門的な受け皿となる団体が設立されるなど、市民の皆様の機運の高まりを踏まえ、開催するにはどうすれば良いか、他市の開催状況を見ながら研究して行きたいと考えます。

（11 月 17 日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。